

全養協通信

平成25年4月9日 発行

全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

〒100-8980 TEL03-3581-6503 FAX03-3581-6509

<http://www.zenyokyo.gr.jp/>

「全養協通信」は、全養協事務局から全国の児童養護施設にお送りしています

《今号のトピックス(見出し一覧)》

1. 2012年度 第38回資生堂児童福祉海外研修報告書送付
2. 厚生労働省人事異動
3. 全社協人事異動
4. 全社協・全養協からのお知らせ
5. 「子どもの命を守れ！」シンポジウム&コンサートのご案内

1. 2012年度 第38回資生堂児童福祉海外研修報告書送付

公益財団法人資生堂社会福祉事業財団が実施している資生堂児童福祉海外研修は、2012年度で38回目となりました。第38回は児童養護施設より6名が派遣され、イギリス・ドイツにおいて研修が行われました。このたび、その報告書が発行されましたので、お送りいたします。

なお、今年度第39回の同研修につきましては、フィンランドとオランダにおける実地研修を中心に企画されており、案内書類は資生堂社会福祉事業財団から各施設に後日直接送付されます。各施設でも、積極的な参加申込をご検討ください。なお、海外研修派遣人数は、資生堂社会福祉事業財団にて選考ののち、児童養護施設から6名の派遣予定となっておりますので、予めご承知おき願います。

2. 厚生労働省人事異動(4月1日付/雇用均等・児童家庭局家庭福祉課関係抜粋)

新職名	氏名	前職名
家庭福祉課長補佐 総務課虐待防止対策室併任 家庭福祉課母子家庭等自立支援室併任	綾 賢治	日本年金機構記録問題対策部記録問題対策グループ参事役
家庭福祉課児童扶養手当特別指導監査官 育成環境課児童健全育成専門官併任 育成環境課放課後児童クラブ需給対策官併任 育成環境課児童手当管理室併任	百瀬 秀	保育課総務係長
家庭福祉課児童扶養手当特別指導監査官 関東信越厚生局健康福祉部健康福祉課児童扶養手当監査官併任 北海道厚生局健康福祉部健康福祉課児童扶養手当監査官併任 東北厚生局健康福祉部健康福祉課児童扶養手当監査官併任 東海北陸厚生局健康福祉部健康福祉課児童扶養手当監査官併任	渥美 友徳	国立武蔵野学院庶務課長

新職名	氏名	前職名
家庭福祉課措置費係長 同課母子家庭等自立支援室措置費係長併任	青木 友則	書記付主査
家庭福祉課母子家庭等自立支援室女性保護係長	山本 裕之	総務課少子化対策企画室主査
総務虐待防止対策室併任解除	高松 利光	家庭福祉課長補佐 総務課虐待防止対策室併任 家庭福祉課母子家庭等自立支援室併任
母子保護課予算係長 母子保健課生殖補助医療係長併任 家庭福祉課母子家庭等自立支援室措置費係長併任解除	大野 久	家庭福祉課措置費係長 同課母子家庭等自立支援室措置費係長併任
家庭福祉課母子家庭等自立支援室女性保護係長併任解除	土谷 朋子	家庭福祉課母子家庭等自立支援室母子係長 同課母子家庭等自立支援室女性保護係長併任

3. 全社協人事異動(4月1日付／児童福祉部関係抜粋)

新役職	氏名	前職名
理事・中央福祉学院学監兼任	山田 秀昭	理事・事務局長・中央福祉人材センター長兼任
事務局長・中央福祉人材センター長兼任	渋谷 篤男	事務局次長・政策企画部長兼任
政策企画部長	笹尾 勝	総務部長・一般財団法人保健福祉広報協会 総務部長併任
児童福祉部長	古田 清美	高年・障害福祉部長
児童福祉部副部長	大元 格彦	児童福祉部参事
児童福祉部参事(全保協担当)	井上 秀夫	高年・障害福祉部参事
児童福祉部参事(全養協担当) 国際部兼務解除	岡田 茂樹	総務部参事・国際部兼務
児童福祉部部員(全母協担当)	城 朱美	中央福祉人材センター一部員
児童福祉部付(出向職員)	鳥生多恵子	社会福祉法人旭川荘
法人振興部長	松島 紀由	児童福祉部長
民生部副部長	妹尾多加義	児童福祉部副部長
総務部付副部長	藤咲 宏臣	児童福祉部参事(全養協担当)
地域福祉部参事	宮崎容一郎	児童福祉部参事(全母協担当)
民生部部員	森山 小楨	児童福祉部部員(全国保育士会担当)
社会福祉法人天竜厚生会	鈴木 一也	児童福祉部付 出向解除(3月31日付)

25年度の全養協事務局体制は次のとおりです。よろしくお願いたします。

全社協児童福祉部長	古田 清美
同 副部長	下澤 秀美
同 参事	岡田 茂樹
同 部員	針谷 妙子

4. 全社協・全養協からのお知らせ

(1) 「アトム基金進級応援助成制度」平成25年度募集中です

「アトム基金進級応援助成制度」は、(株)手塚プロダクションと(株)セディナから継続的に寄付いただいている寄付金（通称：アトム基金）をもとに、児童養護施設に入所していた児童が大学・短期大学・専門学校等に進学した際、2年次目以降の進級時の経済的負担を軽減することにより自立への支援をはかることを目的として平成21年度より実施しています。

助成額は進級した方1名につき3万円です。全養協 No.239 同封の「募集要綱／申請書」により平成25年5月17日（金）[当日消印有効]までにご申請ください。

（募集要綱／申請書は全養協ホームページ<http://www.zenyokyo.gr.jp/>に掲載しています）

(2) 「メイスン財団奨学助成制度」平成25年度募集中です

メイスン財団（一般財団法人日本メイスン財団）は、各種のチャリティー活動や災害義援金の提供等、社会福祉向上のために活動を行っており、本奨学助成制度は、その支援の一環として、児童養護施設入所児童の高校卒業後の進学を援助し、自立と社会参加の一助となることを目的として実施するもので、今回で9年度目の実施となります。

新規の助成者数は7名を予定しています。助成が決定した場合、卒業まで（最大4年間）年額50万円（上限）の大学等授業料の助成を受けることができます。助成の決定までには審査があります。全養協 No.239 同封の「助成要項／申請書」等様式一式をご確認のうえ、平成25年5月10日（金）[当日消印有効]までにご申請ください。

（助成要項／申請書は全養協ホームページ<http://www.zenyokyo.gr.jp/>に掲載しています）

(3) 平成25年度「児童福祉週間」を実施します

国では、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間（5月5日～11日）」と定め、各自治体や関係団体等とともに児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業を行っています。平成25年度も別添の実施要領が示され、「各種事業及び行事を展開することにより児童福祉の理念の一層の周知と子どもを取り巻く諸問題に対する社会的関心の喚起を図る」ことを趣旨として児童福祉週間が実施されます。

資料(別添) 平成25年度「児童福祉週間」ポスター

(4) 全養協刊行物のご案内

① 季刊「児童養護」(第44巻)

季刊「児童養護」は昭和45年に創刊し、今年で43年の歴史を有する児童養護の専門研究誌です。創刊号において、松島正義全養協初代会長が掲げた『児童養護』の役割である「六つの指標」に則り、「生きた養護理論を確立するために、養護実践の面白さ、楽しさ、切なさ、苦しきなど、すべてをくるめた実践の理論化に貢献したい」（創刊15周年記念特集号「座談会」

より抜粋) などの思いから、児童養護施設職員必読書として今日まで刊行しています。

本誌は年4回の刊行で、年間購読料は3,000円(税込・送料込)です。平成25年度は第44巻第1～4号が刊行予定となっており、「養育をする喜び」が通年の特集テーマとなっています。その他、識者等による「論壇」や「法律相談Q&A」等の連載企画も掲載しています。

②「この子を受けとめて、育むために～育てる・育ちあういとなみ～」

全養協では、平成18・19年度にわたり、「児童養護における養育のあり方に関する特別委員会」を設け、「社会的養護を必要とする子どもたちの養育はどのようにあることが望ましいか」との課題について検討を重ねてきました。そして、その報告書として「この子を受けとめて、育むために～育てる・育ちあういとなみ～」を刊行し、頒布しています。

平成20年の刊行以来、本書は現場実践の手引きとして定着しつつあり、すでに累計1万部を超え、広く活用いただいています。児童養護施設職員が養育について学び、気づき、そしてその気づきを日々の実践に活かすために、職員の学習・研修会の資料として、本書をお役立ていただきたいと思えます。

本書は1冊500円(税込・送料別)で頒布しています。同じお届け先へ1回につき20冊以上のご注文をいただいた場合には送料サービス(無料)となります。

①季刊「児童養護」、②「この子を受けとめて、育むために」は
全養協ホームページ <http://www.zenyokyo.gr.jp/> からご注文いただけます

5. 「子どもの命を守れ！」シンポジウム&コンサートのご案内

25年4月20日(土)、東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」にて、「子どもの命を守れ！～いじめ自殺予防と児童虐待防止のために～」をテーマとしたシンポジウムとコンサートが行われます。「子どもの命を守れ！実行委員会」(実行委員長：京極高宣氏 [全社協中央福祉学院学院長])が主催で開催するもので、シンポジウムでは全養協加賀美尤祥会長がシンポジストとして登壇します。参加を希望される方は実行委員会事務局(TEL03-3357-2708)までお問い合わせください。

日 時	平成25年4月20日(土) 12:30会場、13:00開演
会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟小ホール
主 催	子どもの命を守れ！実行委員会
後 援	厚生労働省、文部科学省、社会福祉法人子どもの虐待防止センター、NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク、社会福祉法人読売光と愛の事業団、東京都社会福祉協議会、渋谷区教育委員会
入 場 料	無料
実行委員会事務局	東京都新宿区新木町23-102 国際21世紀芸術協会内 TEL&FAX 03-3357-2708

平成25年度 大会・研修会等予定

会議・研修名	日程	開催地等
《全養協協議員総会》		
平成25年度 協議員総会	5月13日(月)	全社協会議室 (東京都)
《全養協主催 大会・研修会》		
第67回全国児童養護施設長研究協議会	11月20日(水)～22日(金)	三重県伊勢市
全国児童養護施設中堅職員研修会	平成26年 1月15日(水)～17日(金)	国立オリンピック記念青少年 総合センター(東京都)
《全社協主催または全養協共催 会議・研修会》		
社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 (東日本会場)	9月5日(木)～6日(金)	全社協・灘尾ホール (東京都)
社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 (西日本会場)	12月12日(木)～13日(金)	大阪市で開催調整
子ども子育て全国フォーラム(仮称)	10月22日(火)	全社協・灘尾ホール (東京都)
ファミリーソーシャルワーク研修会	平成26年 2月26日(水)～27日(木)	全社協・灘尾ホールほか (東京都)

平成25年度 ブロック大会予定

ブロック	日程	開催地
北海道ブロック	未定	未定
東北ブロック	6月26日(水)～27日(木)	宮城県仙台市
関東ブロック	7月3日(水)～4日(木)	山梨県甲府市
中部ブロック	6月4日(火)～6日(木)	岐阜県高山市
近畿ブロック	6月13日(木)～14日(金)	和歌山県和歌山市
中国ブロック	6月26日(水)～28日(金)	山口県山口市
四国ブロック	6月20日(木)～21日(金)	高知県高知市
九州ブロック	6月19日(水)～21日(金)	熊本県熊本市